

# なるざ 健康新聞

NO.125 令和5年2月

訪問看護ステーションなるざリハビリサービス  
〒910-4103 あわら市二面2丁目302番地  
TEL：0776-77-2282  
ホームページ：www.naruza.jp/

日頃から当サービスをご利用いただきありがとうございます。

今回は、訪問サービスを受けられている利用者様のお薬の管理方法について紹介したいと思います。

## 内服管理とは



内服管理とは、医師の指示通りに内服できているかの確認と、在庫確認や薬の調整をするために多職種と連携をとることです。他に、薬の内容は理解できているが、身体的な問題で薬を飲む動作ができないため、介助を要する場合も内服管理に含まれます。ご利用者様が、薬の取り扱いがきちんとできており、指示通りに内服できていれば、その方は内服管理が自立していると言えます。しかし、ご高齢の方で、きちんと把握し、適切に対応できている方は多くはないかもしれません。そこで、お薬で困ったときのために、相談窓口として訪問看護師や、最近ではかかりつけ薬剤師を利用する方も増えています。



訪問看護師の内服管理は、ただお薬をセットして、飲んでいるか確認して終わりではありません。定期的に訪問し、普段のご様子を見ているからこそ、薬が上手く作用していない、または、よい効果が出ていると気づくことができます。病状や、生活スタイルを把握していることで、内服回数や、内服方法など、ご利用者様の生活を重視して考えることができます。また、薬の使用により、日常生活に悪影響が出てしまった場合、必要な援助を行いながら、薬の調整を主治医や薬剤師と相談していきます。

## 訪問看護での服薬管理の工夫

### < 残薬の整理 >

訪問開始時、利用者さんは多くの残薬を持っていることが多いです。まずは現在服薬治療に必要な薬と、中止になっている薬とを分けまします。正確かつスムーズに服薬のセットを行なうには、残薬の整理整頓は不可欠です。次回受診までに不足がないか、残数確認を行ないます。



## <服薬セット方法の検討>

在宅での服薬管理方法はいくつかあります。利用者様の状態や生活スタイルに合わせた服薬管理方法を検討していく必要があります。

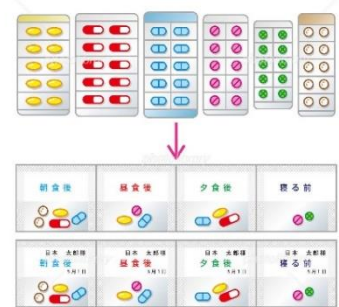
### ★服薬カレンダー

1週間分のカレンダーへのセットは本人だけでなく、家族やその他の訪問サービス関係者が目視で飲み忘れを確認できる利点があります。しかし、カレンダーの設置場所によっては足元が不安定になり、転倒のリスクが高くなる場合も考えられます。利用者様の状態に応じた設置場所の検討が必要です。



### ★服薬ケース

服薬ケースへのセットは、コンパクトにまとまる反面、高齢や疾患による指先の機能低下により取り出しにくいこともあります。1週間分のケースセット、1日分のケースセットなど、セット方法が利用者様にとって適切であるかどうか検討が必要になります。



服薬の自己管理が困難な要因として、服薬の種類や服薬タイミングが多いことが挙げられます。特に高齢になると複数の疾患を抱え、服薬する量が増えることがあります。訪問看護の介入で過剰内服や過少内服の恐れ、服薬の飲み忘れがある場合には、利用者様の生活状況を確認した上で、確実に服薬できるタイミングを見つけたり、飲み忘れが多いタイミングを見つけることで主治医と相談して処方内容の変更や服薬を一包化してもらうなどの対策をとる必要があります。



右の写真は訪問看護利用者様の服薬管理の例になります。日付と曜日を近くに置いてあるカレンダーで確認しながら内服をしています。利用者様の生活状況に合った服薬管理方法を一緒に考えていきましょう。

